

## 【会員のページ】

## 古賀信吉会員 J. Heyrovsky Medal 受賞

本会会員の古賀信吉教授（広島大学）が、チェコ科学アカデミーより“The Jaroslav Heyrovsky Honorary Medal for Merit in Chemical Sciences”を受賞された。Honorary Medalは、チェコ科学アカデミーが科学の各分野ごとに授与する国際学術賞としては最高位の賞であり、このうち化学分野のHonorary Medalは、1959年にポーラログラフィーの開発によりノーベル化学賞を受賞されたJaroslav Heyrovsky博士の名を冠して1965年に創設されている。チェコ科学アカデミー学術委員会の推薦により候補者の選定が行われ、業績審査を通じて受賞者が決定される。日本の研究者もこれまでにProf. Akinori Suzuki (1996), Prof. Saburo Nagakura (1997), および Prof. Mitsugi Senda (2000)の3名が受賞されている。熱分析の研究者では、1998年にチェコ科学アカデミー物理学研究所のJaroslav Šesták博士が受賞されている。Šesták博士は、古賀先生の博士論文研究の指導教員であり、師弟での受賞となった。

ご承知のように、古賀先生は長年、熱分析を用いた無機固相反応の速度論的解析についての研究に取り組まれており、現在Thermochimica Acta誌(Elsevier)のEditorを務められるなど、国際的にも同分野の研究をリードする研究者の一人である。基礎的研究を通じた固相反応解析の方法論的発展への貢献が高く評価され、今回の受賞となった。上述したように、古賀先生は、1989年から1991年のピロード革命の時代に交換留学生としてチェコスロバキア科学アカデミー物理学研究所に留学されており、同国パルドビツェのInstitute of Chemical Technology(現Univ. Pardubice)で学位を取得されている。それ以後、長年にわたって同国の研究者と共同研究を推進されてきたことも受賞理由の一つとしてあげられている。同賞は、2013年6月21日に、プラハ旧市街にあるチェコ科学アカデミー本部において、チェコ科学アカデミー学術委員会委員ならびに在チェコ日本大使館員2名の立ち会いのもと、チェコ科学アカデミー総裁Jiří Drahoš博士により授与された。授与式の模様は、チェコ科学アカデミーのホームページに掲載されている。[http://data.abicko.avcr.cz/sd/novinky/hlavni-stranka/news\\_1078.html](http://data.abicko.avcr.cz/sd/novinky/hlavni-stranka/news_1078.html)

受賞講演は、2013年6月24～27日に同国パルドビツェで開催された第4回チェコポーランドハンガリースロバキアジョイント熱分析会議の開会式直後のPlenary Lectureとして行われた。“Phenomenology and Physico-Geometrical Kinetics of Thermal Decomposition of Solids”と題された1時間を越える講演では、ロウソクの燃焼やカルメ焼きでみられる化学現象を取り入れられるなど、化学教育の分野でも日本を代表する研究者である先生の一面が見られた。固体の熱分解反応を熱分析により追跡し、速度論的に解析する方法論について歴史的背景を踏まえながら解説されるとともに、その化学現象のモデリング、熱分析により得られるデータの本質的な意義、ならびに速度論的解析のための数学的手法における個々の問題点とその克服に向けたご自身の研究成果について講演された。講演の最後に、熱分析を用いた種々の方法論の確立に向けての基礎研究と科学的厳密性を担保することの重要性を訴えられた。会場となったUniv. Purubiceは、古賀先生の母校でもあり、Honorary Medalの受賞とProf. Jiří Málekをはじめとした同



The J. Heyrovsky Honorary Medal for Merit in Chemical Sciences 授与式とメダル (左から Dr. Drahoš, 古賀先生, Dr. Šesták, 在チェコ共和国日本大使館 木宮氏)



Pamětní medaili Univerzity Pardubice 授与式とメダル (左から古賀先生, Dr. Šesták, Prof. Ludwik, Prof. Málek)

大学の研究グループとの長年の共同研究の推進に対して学長賞“Pamětní medaili Univerzity Pardubice”が同大学長 Prof. Miroslav Ludwik より授与された。

古賀先生は、広島大学の教育系学部・大学院のご出身であり、本来のご専門は化学教育である。卒業研究の一環として、当時の指導教官である田中春彦先生から熱分析を用いた固相反応の速度論的研究に導かれ、故小澤丈夫先生をはじめとする本学会の先生方に多方面でのご指導を受けられた。また、英国の Prof. A.K. Galwey から固相反応の顕微鏡観察法、チェコ共和国の Dr. J. Šesták ならびに Prof. J. Málek から非等温速度論の理論と解析法、さらにはスペインの Prof. J. M. Criado から熱重量測定技法について学ばれ、研究の基盤を固められた。いずれも熱分析の分野で国際的に著名な先生方で、古賀先生のご幸運は計り知れない。日頃からの「教育は学校で、科学は学会で学ぶもの」のお言葉に従い、あらためて学会で学ぶことを大切にしたいと思うところである。古賀先生のご受賞を会員の皆様にご報告し、会員の皆様とともに心からお祝い申し上げます。

(防衛大学校 山田 秀人)